

「宮本賞レター交流 2024」のご案内

第12回宮本賞の受賞者とレターで交流するプロジェクトをご案内いたします！

宮本雄二監修・日中関係学会編(2024)『若者が考える「日中の未来」 vol.10：アパレル企業の発展とインフルエンサーの発信力 ～中国発ファストファッション「SHEIN」の事例～』を読んだ方が、執筆者の若者に宛てて読後感とエールを届けることを企図するイベントです。

レターの内容・字数は自由です。できるだけ、題目、問題提起、分析手法、結論などについて具体的なコメントを含めた感想として WORD で作成し、レター本文 400～800 字でお願いいたします。頂戴したレターは、青年交流部会事務局を通じて、執筆者に電子メールでそのまま届けられます。宛て先は以下 13 編の論文の作者から選択してください。

1	アパレル企業の発展とインフルエンサーの発信力 ～中国発ファストファッション「SHEIN」の事例～ 明治大学経営学部経営学科4年 津川凜理香さん
2	日中学生と地域協働による「第二のふるさとづくり」の提案～新潟県佐渡市を事例に 東洋大学経済学部国際経済学科 竹田安里さん（3年＝代表）、上原圭吾さん（3年）、林時鴻さん（2年）
3	日本と中国のジェンダー問題の現状及び中日両国の交流によるジェンダー問題克服の可能性について 山東大学外国語学院日本語学科4年 彭佳美竹さん
4	観光を通じた相互理解～日中関係強化のための持続可能なアプローチ～ 青山学院大学国際政治経済学部コミュニケーション学科3年 長谷川陸也さん（代表）、内山明日菜さん、小木曾結衣さん、落合徳潤さん、平ヴィヴィアンさん、田口遼馬さん、千葉はるひさん、廣瀬大悟さん
5	ACG 文化を架け橋に考えた日中関係の有り様～現状分析と日中友好の可能性～ 山東大学外国語学部日本語コース2年 孫異凡さん
6	日本の小公共圏であるインターネットコミュニティに見られる対中認識 ～Q&A ネットコミュニティ Quora 日本語版を対象に～ 中山大学外国語学院日本語学科3年 李欣巍さん
7	胎動する日中協業の新しい形～国を超えるオープンソース・ソフトウェア（OSS）～ 日本大学商学部高久保豊ゼミナールチーム Initium（イニティウム） 関根駆さん、中村陽月さん、吉田海斗さん、濱田圭吾さん、梶本有咲さん、林冰馨さん
8	予はあえて両国民に希望する ～松本亀次郎の生涯と彼からのメッセージ～ 東北大学大学院国際文化研究科博士課程2年 何琦璠さん
9	邯鄲人による日本の邯鄲イメージの研究～「邯鄲の夢」の受容過程を中心に～ 東北大学大学院国際文化研究科修士課程修了 李孰是而さん

10	日本人の中国イメージを好転させる可能性～中国ドラマの日本進出現状から一考察～ 上海財経大学大学院・2023年卒業 林钰琛さん
11	多主体協働による伝統文化のクリエイティブ開発戦略及びそのメカニズム ～京町家の開発を例に～ 北京外国語大学日本語学院・日本学研究センター 周宇豪さん（院2年=代表）、孫潤昊さん（院2年）、 蘇瑋霖さん（学部4年）、余光海さん（学部4年）
12	蠟山政道の東亜協同体論における「地域的運命」の意識について ～「Raumsschicksal」という概念の思想的な溯源を中心に～ 北京外国語大学北京日本学研究センター博士前期課程2年 黄嫣然さん
13	シックトランスレーションに基づく『茶経』の日本語訳の学術的価値について ～布目潮風の訳本を例に～ 南京農業大学外国語大学院日本語翻訳 陸書涵さん

●応募要領：Wordで作成し、以下についてご明記をお願いいたします。

- ①レターの宛て名（上記13作品を執筆した個人またはチーム）
- ②レター作成者ご自身のお名前、ご所属、連絡先（メールアドレス等）
- ③レター本文（400～800字）

※ファイル名は「×××（作者氏名）論文へのレター（差出人氏名）」としてください。

チームの場合、XXXは「東洋大／青山学院大／日本大／北京外国語大」と記して下さい。

※2編以上の作品へのレターも受け付けます。分けてご投函ください。

●受付先：日中関係学会 青年交流部会 高久保 豊（部会長）

メールアドレス：takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp

件名：宮本賞レター交流2024（×××（作者氏名）論文へのレター）

※受付後1週間以内に発信者にお伝えします。返信がない場合、お問い合わせください。

※受付先を経由して、頂戴したメールをそのまま執筆者にメールで転送いたします。

●締切：2024年5月7日（火）

●応募資格：日中関係学会の学生会員のほか、壮年・シニアの会員、会員でない青年の方や、大学教員とゼミ生の皆さまなども歓迎です。ふるってご応募下さい。

※2024年度青年交流部会第1回定例会(5月22日(水)18:30～21:00開催予定)では、オンラインによる遠隔会議システムにより、執筆者を囲む形でブレイクアウト・セッションを組み、出会いの場を設けたく存じます。別便のご案内をご覧ください。どうぞお楽しみに！

日中関係学会 青年交流部会 事務局